

だれもが使いやすい駅づくり

寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
<ul style="list-style-type: none">・しっかり実証実験を行った上で広めて欲しい。・当事者の声をしっかり反映させて欲しい。	利用状況や取組に対する効果の調査等を実施し、今後の実用化に当たっての課題などを取りまとめていきます。
<ul style="list-style-type: none">・杖を持った人でも安心して利用できる場所にしてほしい。・視覚障害者が転落で亡くなる事故もありその対応が喫緊の課題である。	視覚障害者の安全な歩行の実現に向けて取り組んでまいります。
各鉄道会社、駅ビルを含めた地域周辺の情報と連携させると、より良い情報共有ができるのではないかと。	駅の改札内だけでなく駅周辺施設等とのネットワーク化により利便性の向上を目指します。
<ul style="list-style-type: none">・バリアフリー化のしわ寄せが駅で働く人々にいかない工夫も必須。・駅係員の負担軽減とバリアフリーの両立は大切な問題である。	当事者の利便性向上だけでなく、介助者や駅係員の負担軽減と両立できるように配慮してまいります。